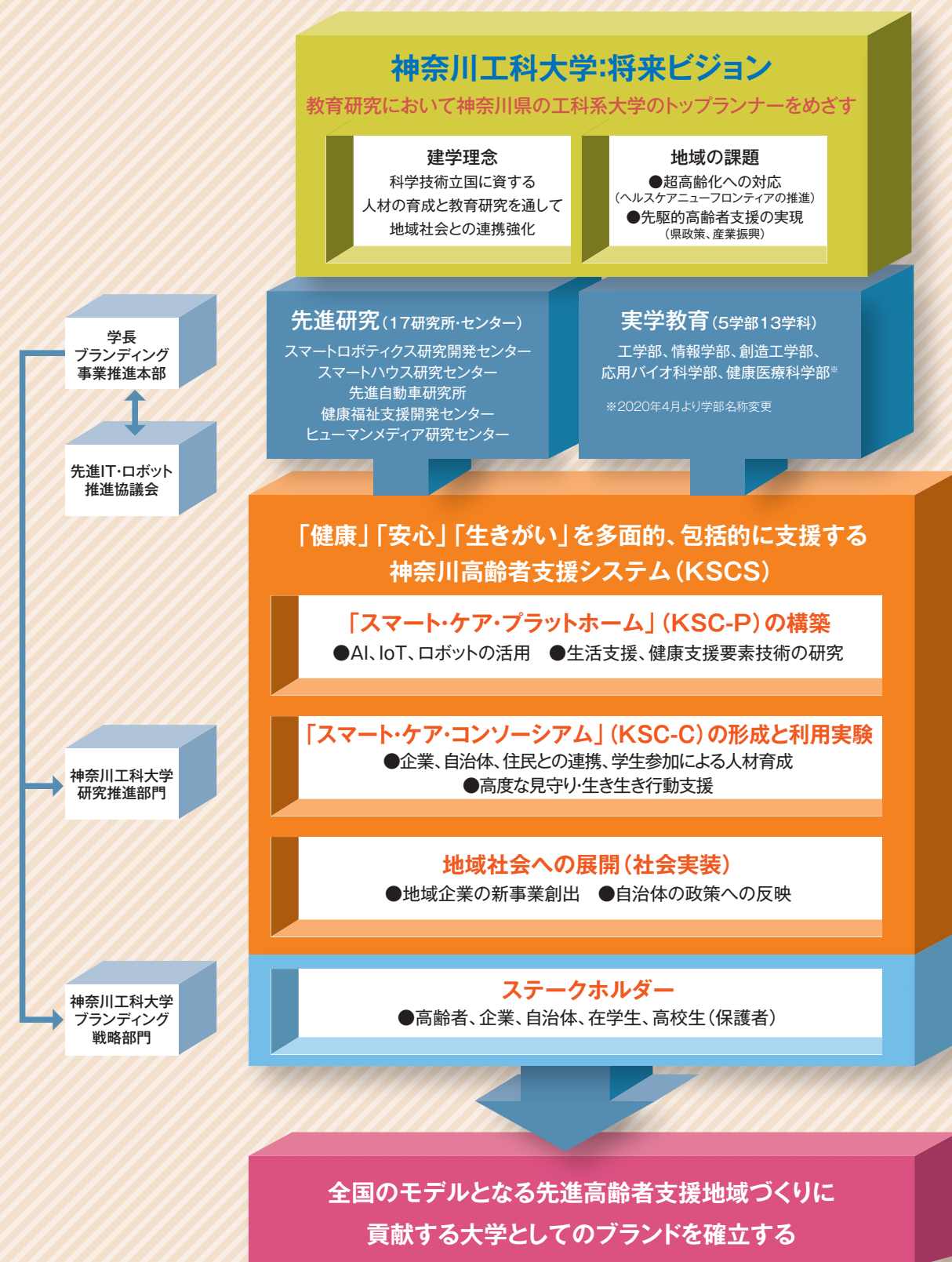
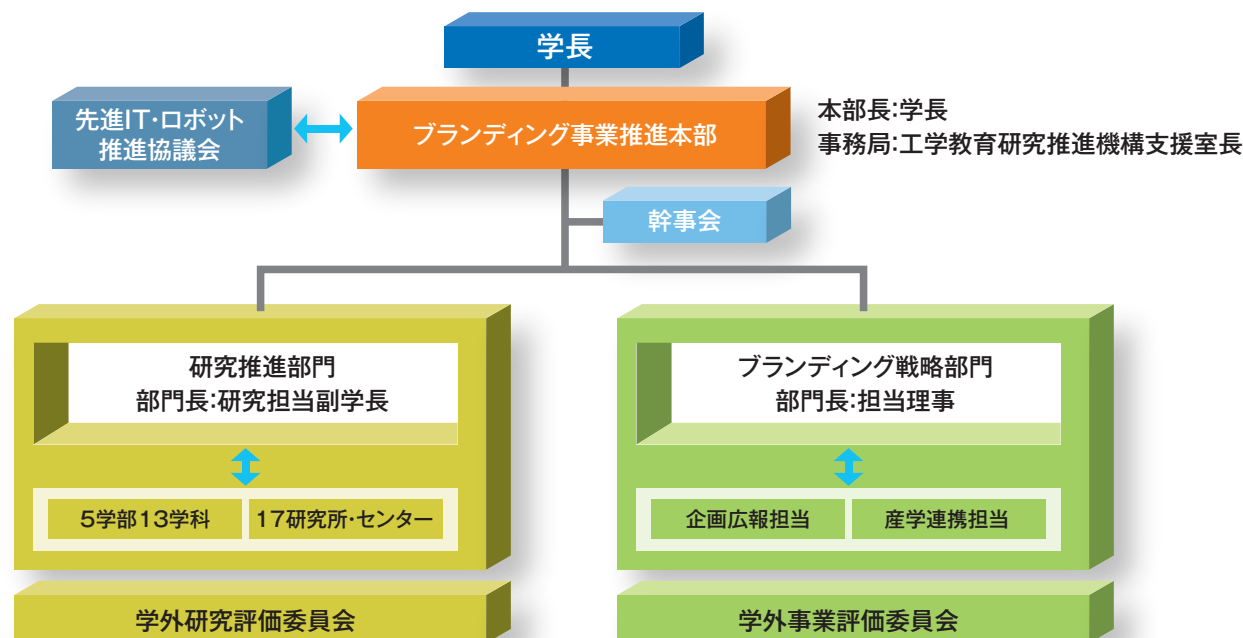


研究ブランディング事業概念図

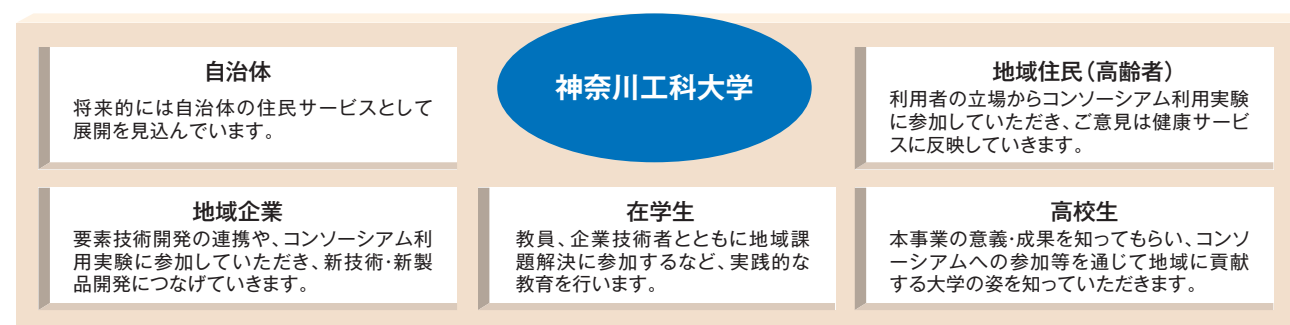
超高齢化の進む神奈川県において、高齢者の「健康」「安心」「生きがい」を包括的多面的に支援するシステム（神奈川高齢者支援システム:KSCS）を開発する。本システムでは、要素技術群を集積するプラットフォーム構築、地域連携コンソーシアム利用実験、自治体政策や新産業創出、人材育成を実現する。これにより地域中核として実績をもつ本学が、全国のモデルとなる先進高齢者支援地域造りに貢献する大学としてのブランドを確立する。



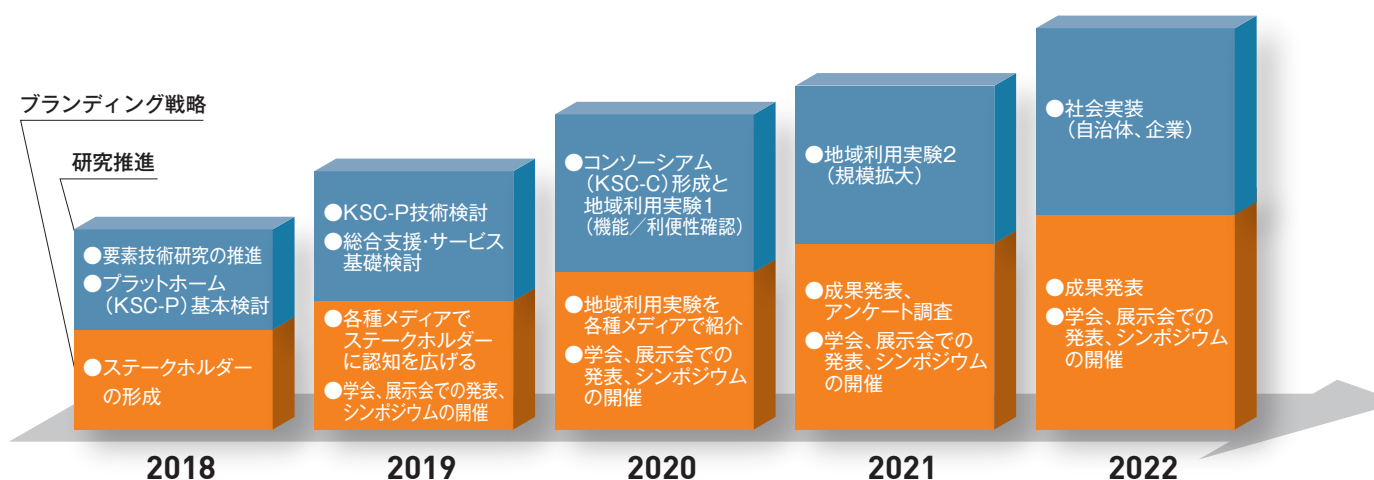
事業推進体制



ステークホルダー（事業関係者）一覧



マイルストーン



神奈川県の先進工科教育研究拠点

全国のモデルとなる

先進高齢者支援システムの開発と

地域社会への展開

神奈川工科大学

研究ブランディング事業

文部科学省平成30年度「私立大学研究ブランディング事業」採択

「健康」「安心」「生きがい」を支援する
神奈川高齢者支援システムKSCS (Kanagawa Smart Care System)
～シニアハピネスの実現に向けて～

文部科学省平成30年度
「私立大学研究ブランディング事業」採択

最先端運転知能システム

要素技術グループリーダー（自動車）

自動車システム開発工学科 井上 秀雄教授

- ドライブの「安心」と「楽しみ」を両立
- 「かもしれない運転」で
見えないリスクを予測・回避
- 「生活の満足度」につながる運転支援

安心
サポート

生きがい
サポート



地域健康診断システム

要素技術グループリーダー（ロコモ）

ロボット・メカトロニクス学科 高橋 勝美教授

- キオスク型端末「健幸 ai ちゃん」で
ロコモ診断と認知機能をまとめて測定
- 健康診断や運動指導で
「生きがい」を支援

健康
サポート

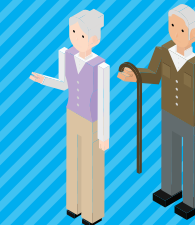
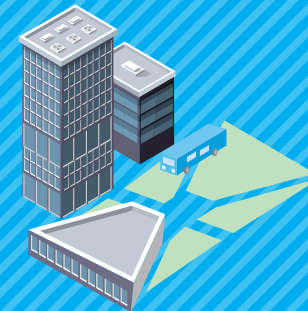
生きがい
サポート



神奈川工科大学

研究ブランディング事業

全国モデルとなる
先進高齢者支援システムの
開発と地域への貢献を
実現します



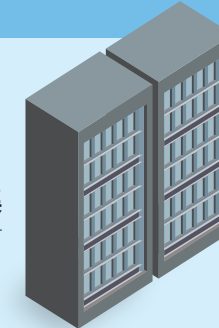
AIシステム

システム構築リーダー

情報工学科 松本 一教教授

- ロボット・IoT・自動車・ロコモ・看護の各システムの情報を収集
- AIで分析・判断し「健康」「安心」「生きがい」を支援する
KSC-P (Kanagawa Smart Care Platform) を構築

スマート・ケア・プラットフォーム (KSC-P)



コンソーシアム形成と利用実験

本プロジェクトに参加する自治体（政策協調）、地域企業（ビジネス連携）、地域住民（サービス利用）、在学生（実学教育の機会）、高校生（進路・興味発見）等によってコンソーシアム KSC-C (Kanagawa Smart Care Consortium) を形成し、KSC-P を基盤とした実証実験を行います。

スマート・ケア・コンソーシアム (KSC-C)

サービス提供

KSC-C を持続・発展させ自治体の政策に沿う形で参加企業と連携し、神奈川高齢者支援システムとして地域住民へサービスを展開し、地域の課題解決への貢献を目指します。

地域社会への展開

申請157大学中、採択20大学
（タイプAの理工系では2大学）

高度見守りシステム

要素技術グループリーダー（IoT）

ホームエレクトロニクス開発学科 一色 正男教授

- 家電を操作するだけで、自然に生活情報を収集
- 「安心」して一人で暮らせる空間
- AIで危険・事故の回避を支援

安心
サポート

生きがい
サポート



ふれあいロボットシステム

要素技術グループリーダー（ロボット）

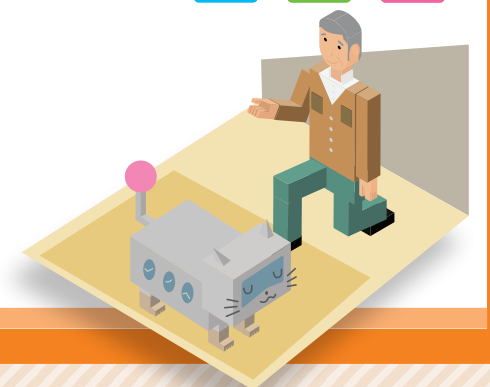
ロボット・メカトロニクス学科 兵頭 和人教授

- スキンシップで心と体の状態を測定
- 会話を楽しみながら体調管理や
運動促進を支援

健康
サポート

安心
サポート

生きがい
サポート



看護の知見でシステムサポート

要素技術グループ（心理）

- 「健康」「安心」「生きがい」を
看護の視点で支援

生きがい
サポート



「健康」「安心」「生きがい」を多面的、包括的に支援する神奈川高齢者支援システム KSCS (Kanagawa Smart Care System)